

第4回政府情報システム改革検討会 プレゼン資料(2010.11.24)

資料2

IT投資管理(ITガバナンス)について ~ 民間の取り組みを参考に ~

株式会社三菱総合研究所

地域経営研究本部 主席研究員

村上文洋

目次

1. IT投資の検討以前に行うべきこと
2. IT投資管理として行うべきこと
3. 目的と手段を間違えない

参考資料

1. IT投資の検討以前に行うべきこと

① 現状認識と課題の重点化

・IT投資の優先順位の決定など。

② IT化にあわせた制度改革・業務プロセス改革

・従来の制度・業務のままでは効果が出ない。

③ 施策と目標の関係の明確化、評価指標の設定

・目指すべき成果と成果の測定指標の明確化。

④ 責任者による成果のコミットメント

・責任と成果の明確化。

⑤ 経営システムとしてのプロジェクトマネジメント

・経営の仕組みの中にプロジェクトマネジメントを位置づける。

⑥ 成果の刈り取り

・コスト削減だけでなく、バリューアップ効果も。

⑦ 継続的な効果の測定

・PDCAを含む継続的な成果の測定。

※(株)リコーの取り組み(参考資料参照)などをもとに作成。

2. IT投資管理として行うべきこと

① 事前評価

・計画策定段階、要件定義段階。

② 設計レビュー・稼動前評価

・設計段階、開発・テスト段階。期待成果が出ない場合、プロジェクトの中止・変更も。

③ 事後評価

・目標設定した成果との比較、課題明確化、対策(PDCA)、継続的測定など。

3. 目的と手段を間違えない

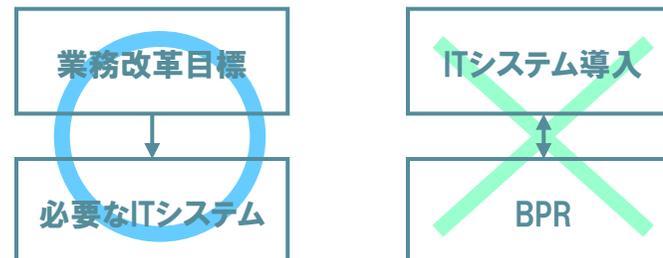
① IT投資管理は経営マネジメントの一部

・IT投資管理は、人材・施設などを含む投資管理全体の一部であり、独立して存在するわけではない。



② BPR

・ITシステム導入のためにBPRを行うのではなく、経営目標から導かれる業務・サービスの変革目標を達成するために必要なITシステムを導入する。



参考資料. (株)リコーの取り組み

RICOH

IT/S投資・効果の基本的考え方



IT/S
投資

インフラ型 IT/S投資

- 中期的な情報戦略の中で必要なインフラを計画的に整備する
- インフラへの投資額は、**一定の基準**を設定し、総額を管理する
- 新たなインフラ整備に向けて既存インフラのTCOを継続的に削減する(IT/S本部+各社IT/S部門)

プロジェクト型 IT/S投資

- 中期経営計画に基づき、全社重点プロジェクト毎に投資を決定する
- 経営革新・業務革新のプロジェクト単位に**個別に投資/採算(効果)**を判断する
- 中期・短期グループ経営システムと連動
(業務革新の主管事業部門+IT/S本部)

Copyright (C) 2008 Ricoh Co.,Ltd. All Rights Reserved.

資料:株式会社RICOH提供

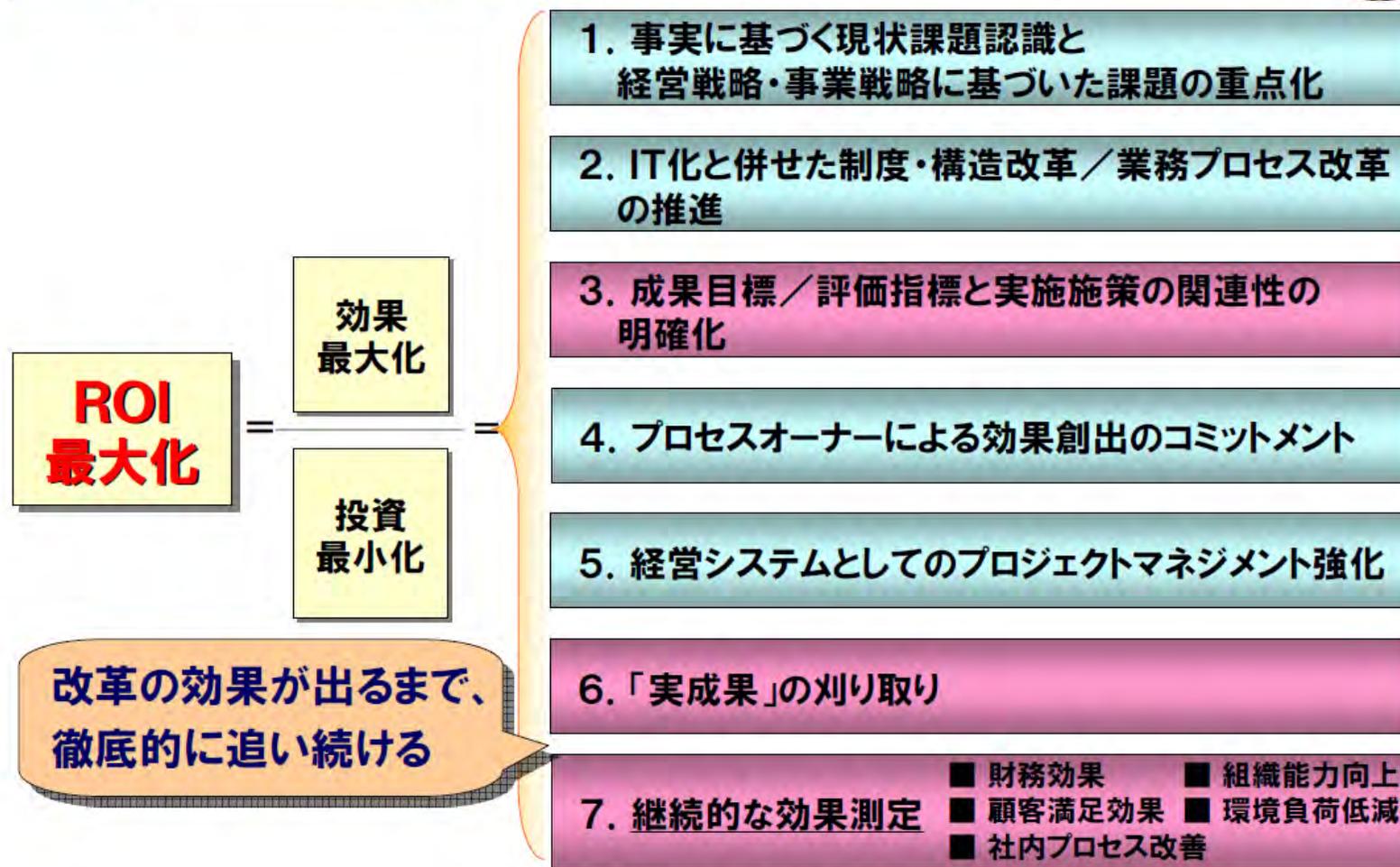
参考資料. (株)リコーの取り組み

RICOH

業務改革の効果最大化の為に

業務革新

IT活用



Copyright (C) 2008 Ricoh Co.,Ltd. All Rights Reserved.

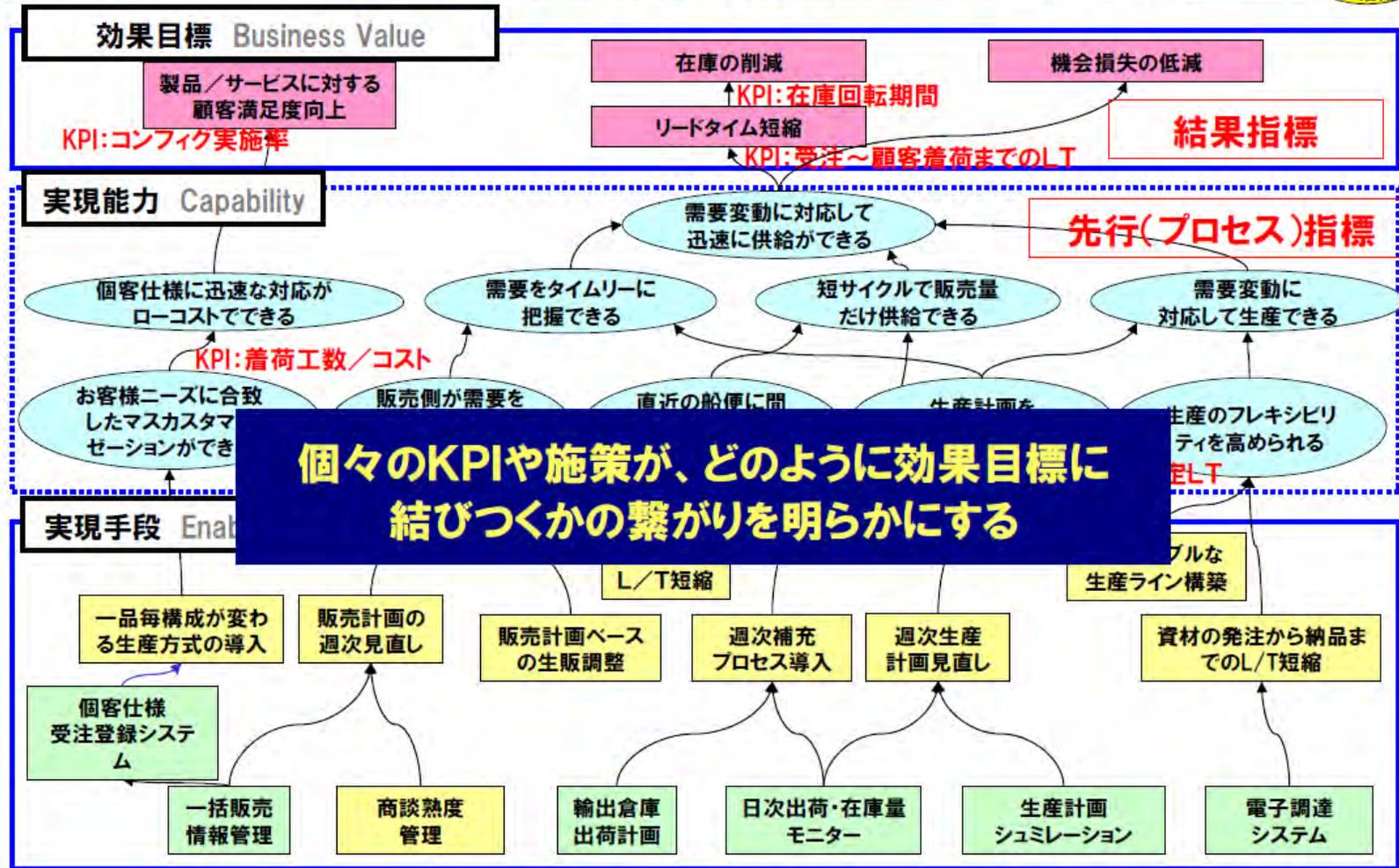
資料:株式会社RICOH提供

参考資料. (株)リコーの取り組み

RICOH

事前の準備: 施策・効果関連図による分析例

業務革新
IT活用



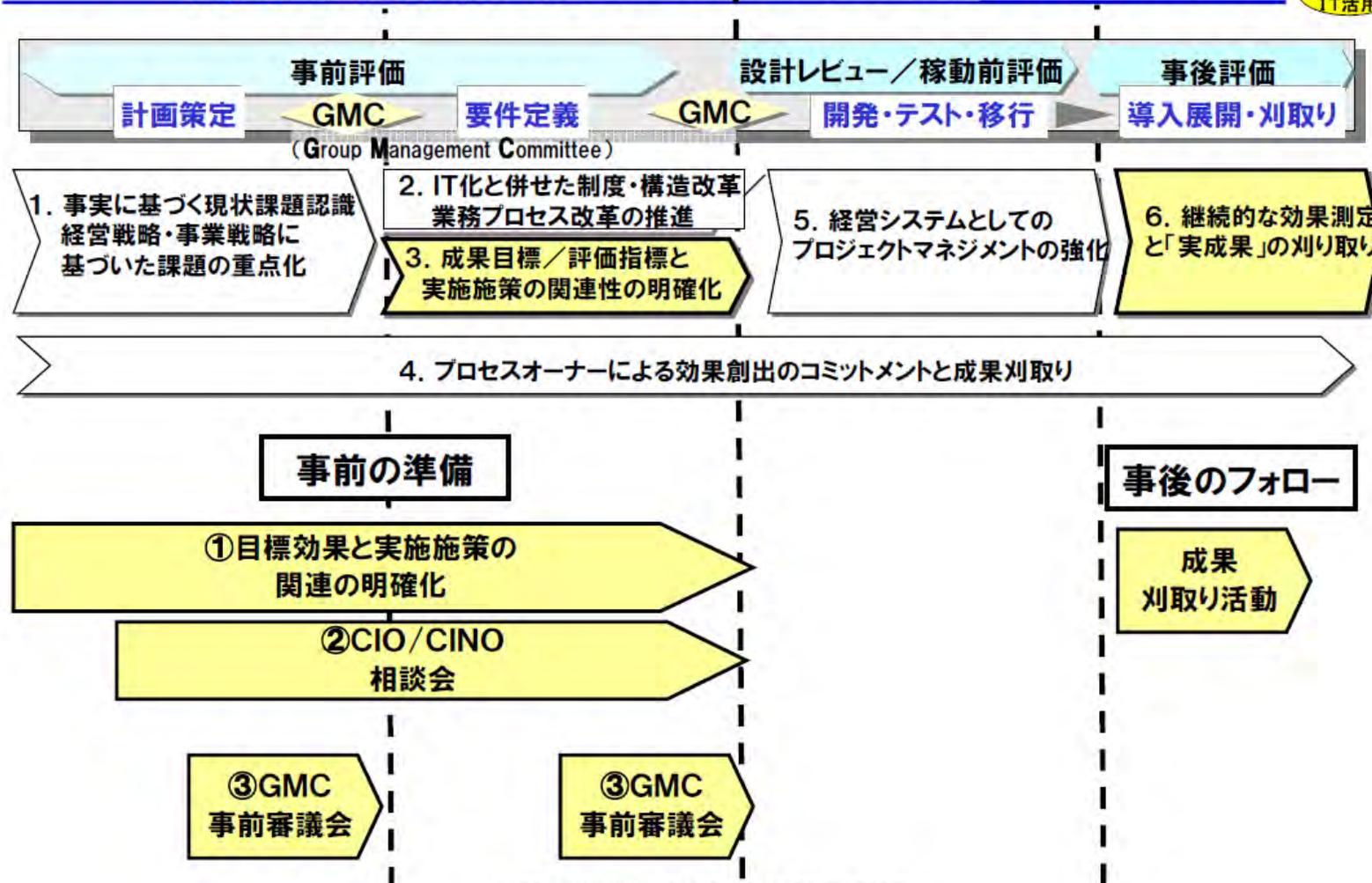
Copyright (C) 2008 Ricoh Co.,Ltd. All Rights Reserved.

資料: 株式会社RICOH提供

参考資料. (株)リコーの取り組み

RICOH 投資対効果最大化のためのプロジェクトマネジメント

業務革新
IT活用



Copyright (C) 2008 Ricoh Co., Ltd. All Rights Reserved.

資料:株式会社RICOH提供